



※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課 (担当：安藤)

(03-6744-2111)

++..... 施策情報 ..... ++

=====

◆令和5年度「飼料用米多収日本一」コンテストの募集を開始しました

【農産局穀物課】

=====

農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会は、飼料用米の生産に取り組む農家の生産技術向上を図るため、平成28年度から「飼料用米多収日本一」コンテストを開催しています。最優秀者には農林水産大臣賞が授与されます。

令和5年度は、8月1日(火)から8月31日(木)まで参加者を募集しています。パソコンやスマートフォンからの応募も可能です。

普及指導員の皆様におかれましては、本コンテストに関心のある農業者の方がいらっしゃいましたら、以下のプレスリリースをご紹介しますようお願いいたします。

▼詳細はこちら (プレスリリース)

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kokumotu/230801.html>

▼オンラインでの参加申込みも可能です

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/kokumotu/230801.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 穀物課 (担当：太田) (03-3502-5965)

=====

◆令和5年度「野菜の日(8月31日)」Webシンポジウム開催のお知らせ

【農産局園芸作物課】

=====

8月31日は、野菜「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の日です。野菜の1人1日当たりの摂取量は平均280g程度で、目標値の350gに至っていない状況が続いていることから、野菜の消費拡大に向けてWebシンポジウムを開催します。特に本年は、ユネスコ無形文化遺産登録10周年を迎える「和食」の一つである「漬物」に注目し、最新データに基づいた漬物の特徴等についての基調講演のほか、時代にマッチした漬物の生産や、食生活の中での新たな取り入れ方等について、多様な方々によるパネルディスカッションを行います。

野菜の消費拡大や加工・業務用野菜の取組にご関心のある普及指導員の皆様は、ぜひご参加ください。併せて、本件を関係者に周知いただくようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○プレスリリース：令和5年度「野菜の日(8月31日)」Webシンポジウムを開催します

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/230801.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 園芸作物課 (担当：中村、高畑、藤富)

(03-3502-5958)

=====

◆大規模輸出産地形成に向けた取組について 【輸出・国際局輸出支援課】

=====

農林水産省では、「GFP フラッグシップ輸出産地形成プロジェクト」により、地域の関係者が一体となり海外の規制やニーズに対応するため生産や流通の転換を行う大規模輸出産地形成の取組を支援しています。本事業では輸出向け多収品種の作付転換に向けた栽培指導（新潟県・コメ）、輸出先国の残留農薬基準に対応した防除実証（宮崎県・キンカン）等、普及指導員が活躍されています。

また、輸出産地育成に向けては、JAグループが総力を挙げ主体的に輸出産地の課題を踏まえたより効果的な指導等ができるように、JAグループと農林水産省が連携していくこととしています。今後、このようなまとまりを持った輸出産地のさらなる育成には、普及指導員の皆様のご指導・ご協力が不可欠であると考えていますので、輸出産地育成に向けた積極的なサポートについてご協力のほどよろしく申し上げます。

▼詳細はこちら

○GFP フラッグシップ輸出産地形成プロジェクト（農林水産省 HP）

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfpglobal\\_koubo.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfpglobal_koubo.html)

※お問い合わせ先

農林水産省 輸出・国際課 輸出支援課 (担当：二瓶・武藤)

(03-6744-7172)

=====

◆農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

【大臣官房 環境バイオマス政策課】

=====

農林水産省では、農林漁業バイオ燃料法により、農林漁業者とバイオ燃料製造業者の連携によるバイオ燃料製造や、バイオ燃料の原材料生産等の研究・開発に対する支援を通じた、バイオマス資源のバイオ燃料の原料利用を促進しています。

例えば、農林漁業者等とバイオ燃料製造業者が連携してバイオ燃料製造に取り組む生産製造連携事業計画の認定を受けた場合、固定資産税の課税標準額が3年間減免されるなどの措置がありますのでお知らせします。

普及指導員の皆様におかれましては、本認定制度が活用されるよう、農業者への周知等のご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○農林漁業バイオ燃料法関連情報

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

○農林漁業バイオ燃料法パンフレット

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/attach/pdf/index-2.pdf>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 (担当：原口、大串)

(03-6744-1508)

◆「2032年における世界の食料需給見通し及びロシアのウクライナ侵攻が世界の食料需給に与えた影響」(令和5年8月29日(火)14時Web会議)のご案内

【農林水産政策研究所】

農林水産政策研究所では、自ら開発した「世界食料需給モデル」を用いて、平成20年度以来、10年後の世界の食料需給見通しを推計・公表してきました。

今回の研究成果報告会においては、新たに推計した2032年における世界の食料需給見通しの概要について、とうもろこし、小麦、大豆等の主要農産物の最新の需給動向、ロシアのウクライナ侵攻が世界の食料需給に与えた影響等とあわせて報告します。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加くださいますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2023/20230829.html>

※お問い合わせ先

農林水産省農林水産政策研究所(担当：勝又、小向)

(03-6737-9012)

◆「令和5年度 病虫害発生予報第6号」(令和5年8月9日(水)付け)を発表しました

【消費・安全局植物防疫課】

農林水産省は、向こう1か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第6号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○向こう一ヶ月の発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

- ・ 水稻の斑点米カメムシ類：東北、南関東、東海、中国及び四国の一部の地域
- ・ 野菜のオオタバコガ：関東及び近畿の一部の地域
- ・ なしのハダニ類：北九州の一部の地域

この他、水稻のいもち病等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

